

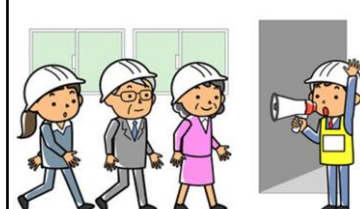



# 店舗での防災訓練

(ポイント)店舗で発災した場合、「お客様をいかに安全に避難させるか」について実践いただく場として「大阪880万人訓練」の機会を活用いただければいかがでしょうか！

以下、実際にある商業施設で大阪880万人訓練当日に実施した訓練の一例です。

## 防災訓練計画(概要)

場 所	店舗施設内	
訓練内容	<b>1. 身を守る行動 … 発災直後</b> 緊急速報メール(地震発生)を受信すれば、机等の頑丈な物の下に隠れ、身を守る。 近くに机がなければ、ダンゴムシポーズをとり、揺れがおさまるまで身を守る。※1	
	<b>2. 迅速的確な情報発信</b> 揺れがおさまれば、店内にいるお客様の混乱を回避するため、館内放送や電子掲示板(デジタルサイネージ)等を活用して迅速的確な情報発信を行う。 ※2	
	<b>3. いざ避難!</b> 2回目の緊急速報メール(津波警報発表)を合図に屋外の安全な場所にお客様を避難させる。 店舗が津波浸水区域内にあれば、浸水区域外まで水平避難を行い、水平避難が難しい場合は近くの津波避難ビル又は堅固な建物の3階以上へ避難する。	
	<b>4. 安否確認</b> 安全な場所への避難が完了すれば、会社内で決められている安否確認方法に則り、職員の安否確認を行う。※3	

※1 【ダンゴムシポーズ】→耐震性のある建物内にいること、背の高い棚や重量物が上から落ちてこない環境にあることが前提となります。

※2 外国人対応のため、多言語による広報に留意する。

※3 令和6年1月にリリースされた大阪防災アプリでは津波避難ビルや近くの避難所、津波浸水区域を簡単に調べることができ、安否確認ツールとしても活用できます。

【登録はこちら】

↳ [大阪府／大阪防災アプリの提供を開始します \(osaka.lg.jp\)](https://osaka.lg.jp)

